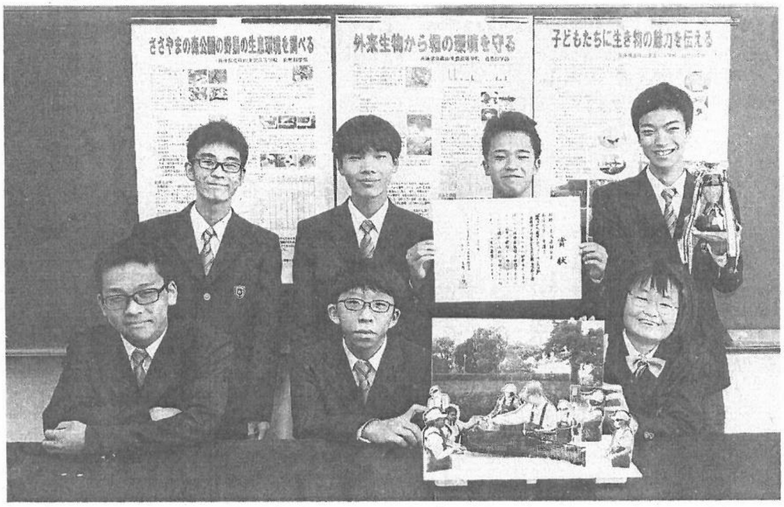
# 県総文で最優秀

## 野鳥調査や外来種駆除

### 東雲高 自然科学部

篠山東雲高校自然科学部（1—3年、計8人）がこのほど、神戸市で開かれた「第48回県高校総合文化祭　自然科学部門発表会（第16回）」の「環境・普及活動発表」部門で、トップの最優秀賞に4年ぶりに輝き、来年11月に鳥取県で開かれる近畿総合文化祭への出場を決めた。発表テーマは「地域の自然環境を調べ、守り、伝える活動」。今年度初めて取り組んだ県立ささやまの森公園での野鳥調査や、2020年から継続している篠山城跡堀での外来生物駆除活動などの内容を、ポスターや写真、模型などを使用して説明。地域と関わりながら長年継続していることに加え、新たに始めた研究や、生徒の主体性などが高い評価につながった。



県総文の自然科学部門発表会の環境・普及活動発表でトップの最優秀賞受賞を喜ぶ篠山東雲高校自然科学部の部員たち＝丹波篠山市福住で

## 来秋、近畿総合文化祭へ

県内で自然科学部系の部活動に励んでいる約50団体が集い、環境・普及活動発表の部門には3校のエントリーがあった。同部は、A0サイズの模造紙3枚に取り組みをまとめて発表した。

兵庫丹波の森協会が主催する「たんばユース躍動プロジェクト」の一環で実施された野鳥の生息環境調査に延べ4日間参加し、得られた結果と考察を報告。スギ林、アカマツ林、コナラ林など異なる4つの環境で、各所で10分間とどまり、姿や鳴き声を記録する方法で計15種類の野鳥が確認できたことを発表した。調査に携わった1年生の　さ　さんと　んは、「ささやまの森公園は高校の裏山にある。野鳥の聖地と聞いてはいたけれど、本当にいろんな野鳥が生息していることが分かり、地域の環境を守っていきたいという思いが強くなった」と話した。

5年目の取り組みとなった篠山城跡の堀の外来生物駆除活動では、ウシガエル、ブルーギル、アメリカザリガニを計1万5424匹捕獲したことを報告。ウシガエルの胃の内容物も調べ、アメリカザリガニを多く食べていることを突き止めた。

同部の　部長（3年）は、「積み重ねてきた取り組みを評価してもらえて、うれしい気持ちでいっぱい。代々受け継いできた外来生物駆除活動は徐々に成果も出てきている。後輩の皆さんには、もっと考察を深めながら、より良い発表につなげてほしい」と期待している。

同部員は次の皆さん（カッコ内は出身中学）。

▽3年＝　（篠山）、　（同）、　（同）、　（狭間）▽2年＝　（篠山）、　（狭間）▽1年＝　（長坂）、　（東谷）

2024年12月5日
丹波新聞